

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 わかたけ共済部	代表者	白藤 宗徳	法人・ 事業所 の特徴	わきあいあい わかたけは平屋建ての木材が多く使用されており、木の持つ暖かさ、やわらかさがある施設です。同一敷地内に、法人内の保育所、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、居宅介護支援事業所の施設があり、施設間の交流、連携が行われています。事業所の様子とし、事業所名のように、利用者と一緒にわきあいあいと利用者の笑顔が見られるように過ごしてもらえることを心がけています。
事業所名	わきあいあい わかたけ	管理者	佐藤 由美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	全体ミーティング・カンファレンスを定期的に行ない、職員に対して計画目標を作成し、目標の明確化を目指す	ミーティング・カンファレンスを定期的に行い、個々の計画目標を作成することで個別性の重視する対応に努めた。	「ほとんどできていない」の方を「できている」の方が指導、伝達していくと「ほとんどできていない」が減ると思う。地域資源を難しく考えず、配達・薬局・美容院等も地域資源となり、活用していくといい。	継続してミーティング・カンファレンスを定期的に行い、「できている」項目を継続し、それぞれの職種が連携・協力し、より良い支援となるよう取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	環境整備を計画的に行い、清潔な環境を提供していく。わきあいあいとした環境で、利用者様に寄り添いケアに努める。	コロナ禍もあり、環境整備を計画的に行い、清潔な環境を提供していくよう努めた。	不快な音や臭いはしたことがない。施設されてなく初回訪問時も安心感があり、玄関横にすぐ事務所があり要件等を伝えやすくなっている。	日々の清掃、環境整備を継続し、来客者の対応を評価していただき居心地の良い環境になるよう努める。
C. 事業所と地域のかかわり	ご利用者様ご家族様はもちろんであるが、職員間や地域の方にもしっかり挨拶をしていく。可能な限り、地域の婦人会、老人会にも出向けるよう場を設けていく。	送迎時等にも地域の方にも挨拶するよう努めた。 コロナ禍で地域の行事等実施されなかつたので出向くことは出来なかつた。	積極的に地域の活動に参加をし、事業所のことを知っていただくといいと思う。 日頃からの挨拶や声掛け、今できる「つながり」の継続をお願いします。	日中活動や地域行事への参加を通して利用者・職員が地域との繋がりの意識を高め、また地域の方々にも事業所理解を深め、地域資源の一つとして認知されるようふれあいの機会を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	老後の生き方暮らし方シートなど活用し、利用者様、利用者様以外の方についても情報共有を行う。利用者様の思いを確認しながら楽しんでいただけるように企画していく。	新型コロナウイルス感染防止の為ボランティア等の社会資源利用が困難だった。事業所内でのイベント活動しかできなかった。	車の移動だけでもいいので地元をめぐると思えば人と話を深めれると思う。 少人数での外出などされているようなので、今出来ることをしっかりされていると感じた。	地域の方と一緒に利用者様の暮らしを支えられるよう支援するため、積極的に地域に出向き地域の方とお話や関われる機会をつくる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の取組みの説明、開催時の参加をご理解していただき、会議の開催意義をご理解していただけるような会議にしていく。他の事業所と連携し、困難事例など事例検討会議の実施を目指す。	運営推進会議がほとんどが書面での開催となってしまった。	事業所の取組み、状況説明が分かりやすく、写真で様子を報告してくれているのでご利用者の様子、楽しんでいる姿など見ることが出来ている。	運営推進会議を通して事業所の取組みや状況説明、改善点を報告・相談をおこなっていく。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所内の避難訓練を継続的に実施し可能な限り、地域の方々にも参加していただき、地域で行われる防災訓練への参加もしていく。	昼夜問わず、火災、地震、水害、避難訓練を継続的に実施できているが地域と協働した取組みはできなかった。	機会があれば防災訓練は見せてほしい。 家族としても災害の際など事業所の方を頼りにしているので、避難訓練を継続してほしい。	近隣の方々や地域の方々より事業所の防災訓練に参加していただくと共に、地域の防災訓練に参加できるような体制作りを整える。